

1 2極分化と2極共存 国土・地域のデュアル化・二重構造化

(1) リアル空間とバーチャル空間 (物理空間とネット空間)

ネット化の普及 IoT IoE (すべてがネットワークに) ビッグデータ、クラウド ネット空間も国土・地域として機能

リアル店舗とネット販売 オムニバス化 テレワーク (クラウド・ソーシング) 遠隔教育 通販 リモート時代 バーチャルリアルティ (仮想現実) の発達

(2) グローバル化とローカル化 国際標準化と個性化

インバウンドとアウトバウンド バウンドレス化 (国境バリアフリー)

鎖国から開国へ 第3の開国 明治維新 黒船 昭和維新 敗戦 平成 インターネット 海外工場、国際観光 外国人ワーカー

海外直結 個性・地域資源の尊重 アイデンティティ

多言語社会へ 外国語 受験用から実用へ 接客、案内標識など

広く世界との交流 航空便の発達・格安化 インターネット交信

中国・韓国 (大陸型) との近隣交流

アセアン・オセアニア (島国型) との近親交流 国外の国内化

(3) 物的資本 (工業社会型) と人的資本 (情報社会型)

企業の巨大化 グローバル市場の支配力 設備投資の拡大

スモール・ビジネス 個人起業、ベンチャーの台頭 俊敏性

人材が資源・生産財 人的資本が地域の生産力 都市も生産現場

(4) 筋肉労働 (工業社会型) と頭脳労働 (情報社会型)

働き方の変化 ワークシフトの進展 特に頭脳労働

筋肉労働の変化 自動化・ロボットと手作業・スキップ・人間力

IoT (インターネットオブシング) 工場の自動化

自動操縦 自動車 建設機械 無人飛行機 ドローン (地上空間の活用)

サービス業 伝統工芸 もてなし 感性 精緻

知的生産性 人材配置で空間機能を規定 頭脳労働は居住環境立地型へ

クリエイティブ・オフィス、ハウス、シティ

(5) 高速化と「ゆったり」化 移動と滞留

交通・輸送のスピードアップ 格安航空便 地方空港の活用

新幹線 リニア 高速道路

途中を楽しむ 豪華列車 豪華客船クルーズ 途中下車の楽しみ

(6) 集中・配分型と地域分散型（地産地消） 供給の小規模・多元化

エネルギー 太陽光、バイオマス、小水力、地熱発電 蓄電（水素）

食糧 安全・安心 メイドインジャパン 市民農園 自立経済圏

(7) 大都市と地方 特に東京とその他

共存の方策 ライフスタイル、価値観の多様化

地方の役割 頭脳疲労の回復 保養地 国土の保全

人口 食糧（安全性、国産） 文化 アイデンティティ（伝統文化）

居住の多元化 2地域居住 空き家活用

2 接点（インターフェイス）、交差点（インターセクション）、交流（インターチェンジ）に相当する空間・結節点の配置 「Iフロント」ネットワーク

分化した2極の接続機能（神経系）の装備 核となる地域拠点の配置

情報の交差点こそが生産空間 情報生産の場“情場” 地域情報化拠点

1-人的ネットワーク ①ボッセ（頼りになる同志）（少数）②ビッグアイデア・クラウド（多数・多様性）③自己再生のコミュニティ（地縁・友縁）

2-リアル開発会議 フェューチャー・セッションなど ファシリテーター

3-物理的空間 縦割りの総合 現場レベル（市町村） 人材 IJUターン  
現場主義 「権限・財源・情報近接の原則」 情報に近いほど方策は適正に

ただし 人材を得ること 情報力・行動力の強い若者 地方移住希望  
政策として 一律・画一から地域裁量へ 市民分権の方向で

政策特区の拡大 一国多制度へ

自由な交付金 広い裁量権

事前チェックでなく事後の効果測定へ

#### 参考図書（追加）

グレン・ハバード他「なぜ大国は衰退するのか」日本経済新聞出版社

小笠原康「没落する日本」さくら舎

池田信夫「日本人のためのピケティ入門」東洋経済新報社

竹信三恵子「ピケティ入門」金曜日

山下祐介「地方消滅の罠」ちくま新書

松井一郎「これからの観光政策」イマジン社

「ジャパングラス 外国人から見た日本は素敵だ！」東邦出版

リンダ・グラットン「ワーク・シフト」プレジデント社

フランス・ヨハンソン「アイディアは交差点から生まれる」阪急コミュニケーションズ

チップ・ハース他「アイディアの力」日経BP社

谷益美「リーダーのためのファシリテーションスキル」すばる舎

山口周「外資系コンサルの知的生産術」光文社新書

遠藤功「現場論」東洋経済